

【特集】

田んぼアートが出来るまで

5月29日。
夏本番を控え、照りつける太陽の下、
「豊作祈願 田植え祭り」が約3000人の参加により行われました。

今年で5年目となる「かがみいし田んぼアート」。今では町のメイン事業の一つとなつていますが、実施を予定していた初年度は震災により1年間の順延となつてしまいました。1年越しで開始し、4年目となった昨年は、観覧者数が2万人を超えるまでとなりました。

観覧場所である町図書館4階展望室から観る「田んぼアート」は、自然の中に描き出すまさに「アート」であり、その壮大さと美しさは、観る者に感動を与えます。

毎年多くの方にご観覧いただいている田んぼアートですが、完成させるまでには、苗を育てる「育苗」作業と、それぞれの色の苗を植える場所を決める「測量」作業、水田に苗を植える「田植え」作業など、様々な作業があり、種を蒔いてから見頃を迎えるまでには約3か月もの時間がかかります。

今回の特集では、田んぼアートを観るだけではわからない、出来るまでの過程と苦勞、関係者の想いに迫りました。



2012 田んぼアート
「牧場の風景」



2013 田んぼアート
「桃太郎」



2014 田んぼアート
「金太郎」



2015 田んぼアート
「浦島太郎」



2016 田んぼアート
「かぐや姫」(H28.6.27 現在)



2015 田んぼアート
豊作祈願 田植え祭りの様子
町図書館4階 展望室から